

# 事務事業評価シート

(平成 23 年度実施事業)

事務事業名	観光施設整備事業			事業コード	1292
所属コード	132000	課等名	観光課	係名	
課長名	村山 悦男	担当者名	中嶋 亮	内線番号	3751
評価分類	<input checked="" type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 公の施設 <input type="checkbox"/> 大規模公共事業 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 内部管理				

## 1 事務事業の基本情報

### (1) 概要

総合計画 体系	施策の柱	活力ある産業の振興	コード	5
	施策	地域資源をいかした観光・物産の振興	コード	4
	基本事業	観光交流の推進	コード	2
予算費目名	一般会計 7 款 1 項 3 目 観光施設整備事業 (001-01)			
特記事項				
事業期間	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 単年度繰越 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度	開始年度	年度	
根拠法令等	なし			

### (2) 事務事業の概要

上の橋観光バス駐車場の管理及び観光施設案内板等の整備・補修

### (3) この事務事業を開始したきっかけ (いつ頃どんな経緯で開始されたのか)

観光環境を整備することにより、観光客の利便性の向上を図るため。

### (4) 事務事業を取り巻く現在の状況はどうか。(3)からどう変化したか。

外国人観光客の増加に伴い、外国語併記の案内板やパンフレット等の整備が必要となっている。また、玉山村との合併により玉山区の内容を加えた案内板の整備が必要となっている。予算の縮小により、老朽化した観光案内板の修繕に係る費用の確保が困難になっている。

## 2 事務事業の実施状況 (Do) . . . . .

### (1) 対象 (誰が, 何が対象か)

盛岡を訪れる観光客

### (2) 対象指標 (対象の大きさを示す指標)

指標項目	単位	21年度 実績	22年度 実績	23年度 計画	23年度 実績	26年度 見込み
A 観光客入込み	万人	459	444	472	466	490
B						
C						

### (3) 23年度に実施した主な活動・手順

- ・上の橋観光バス駐車場の管理
- ・観光案内板等の修繕

### (4) 活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)

指標項目	単位	21年度 実績	22年度 実績	23年度 計画	23年度 実績	26年度 目標値
A 駐車場運営日数	日	359	358	360	360	360
B 観光施設等の修繕回数	回	11	7	10	4	10
C 利用促進用マップの配布数	枚	2000	2000	2000	2000	2000

### (5) 意図 (対象をどのように変えるのか)

盛岡を訪れる観光客の利便性に資する

(6) 成果指標（意図の達成度を示す指標）

指標項目	性格	単位	21年度実績	22年度実績	23年度計画	23年度実績	26年度目標値
A 上ノ橋観光バス等利用台数	<input checked="" type="checkbox"/> 上げる <input type="checkbox"/> 下げる <input type="checkbox"/> 維持	台	9359	8517	12000	8849	12000
B	<input type="checkbox"/> 上げる <input type="checkbox"/> 下げる <input type="checkbox"/> 維持						
C	<input type="checkbox"/> 上げる <input type="checkbox"/> 下げる <input type="checkbox"/> 維持						

(7) 事業費

項目	財源内訳	単位	21年度実績	22年度実績	23年度計画	23年度実績
事業費	①国	千円	0	360	0	0
	②県	千円	0	0	0	0
	③地方債	千円	0	0	0	0
	④一般財源	千円	1423	1456	1019	1051
	⑤その他( )	千円	0	0	0	0
	A 小計 ①～⑤	千円	1423	1816	1019	1051
人件費	⑥延べ業務時間数	時間	500	500	500	500
	B 職員人件費 ⑥×4,000円	千円	2000	2000	2000	2000
計	トータルコスト A+B	千円	3423	38160	3019	3051
備考						

3 事務事業の評価 (See) . . . . .

(1) 必要性評価（評価区分が「内部管理」の事務事業は記入不要）

① 施策体系との整合性

観光施設を整備し、観光客の利便性を向上することは、観光客の誘致拡大に結びつく。

② 市の関与の妥当性

観光客の利便性に資するためには、市内全域の観光施設を効率よく結びつけて観光客の案内を行う必要がある。

### ③ 対象の妥当性

既に市に来訪している観光客を対象とする事業であるため、現状で妥当。

### ④ 廃止・休止の影響

老朽化又は破損した観光案内板を放置することとなり、観光客の利便性が著しく低下するとともに、市のイメージダウンにつながる。

## (2) 有効性評価（成果の向上余地）

老朽化している観光案内板が相当数あるため、修繕を進めることにより観光客の利便性が向上する。

## (3) 公平性評価（評価区分が「内部管理」の事務事業は記入不要）

受益者は観光客であるため、現状で適正である。

## (4) 効率性評価

案内板の修繕経費を削減すると耐久性が低下し、将来的に現在よりも経費を要することとなる。

## 4 事務事業の改革案 (Plan) . . . . .

### (1) 改革改善の方向性

定期的に観光案内板施設の実態を調査し、緊急度、重要度等を勘案して計画的に整備を図る。

### (2) 改革改善に向けて想定される問題点及びその克服方法

観光案内板や観光施設の修繕費用の不足が問題となっている。修繕費予算の獲得に努める。

## 5 課長意見・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

### (1) 今後の方向性

- 現状維持（従来どおりで特に改革改善をしない）
- 改革改善を行う（事業の統廃合・連携を含む）
- 終了・廃止・休止

### (2) 全体総括・今後の改革改善の内容

定期的に観光案内板施設の実態を調査し，緊急度，重要度等を勘案して計画的に整備を図る。